

寅さん歩 その 15

江戸・東京(23 区)の百名山-7

平野 武宏



深田久弥提唱の「日本百名山」は山男や山ガールが入門書や目標としています。昔の友人もはまっていましたが、山の上があまり好きでない寅次郎は興味を示さず、ウォーキングの世界に入りました。最近、NHKBS 放映「グレートトラバース-2」で「日本百名山」を踏破後、「日本二百名山」を一筆書きで、交通機関を使わず、自分の足のみで踏破しているプロアドベンチャーレーサーの姿を知りました。

4 年前に東京に移り住み、都内を歩き回っている寅次郎、図書館で「江戸・東京百名山に行く(手島宗太郎著)」を見つけ、アイデアをいただきました。「山の日」祝日実施記念として踏破に挑戦したい気持ちになりました。

著者手島氏の選んだ「百名山」は現存しない山や富士塚も含まれていますが、最高峰は新宿区 44.6m の箱根山と知り、自分の足だけなどと言わずに、東京都シルバーパスも活用し、楽しみながら、踏破する新シリーズとします。位置関係が分かるように、数の多い 23 区順に紹介します。

三番目に多いのは大田区と目黒区で各 8 山あります。

大田区の 8 山から踏破します。数字は踏破した数の累計です。最寄り駅は代表例で、都営はシルバーパス使用可です。

[大田区]

35. 亀甲山

田園調布 1 丁目 63 多摩川台公園内
最寄駅 東急東横線 多摩川駅

駅西口を出ると、多摩川台公園への上り口の表示があります。写真下左の階段を上ると広場に説明板があり、「国指定史跡の亀甲山古墳は大田区から世田谷区におよぶ荏原(台)古墳群中最大の前方後円墳であるが、発掘調査は行われておらず、詳細は不明であるが、埴輪や葺石等がないことやその古墳の

形により、5世紀前半頃の築造と考えられる。当時、この地方に勢力のあった首長の墓と推定されている。後円部南端を浄水場建設工事により削られているものの、比較的良く原形を保っている。港区芝公園内の丸山古墳と並んで都内の代表的古墳で、昭和3年（1928年）国の史跡に指定されている」と記載。写真下右の説明板の後ろが「亀甲山」ですが、工事中で上には行けませんでした。

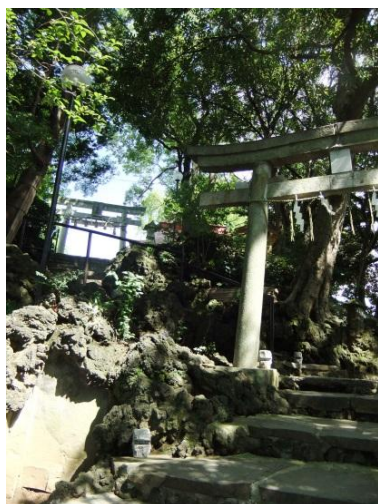


36. 多摩川富士

田園調布 1 丁目 55 多摩川浅間神社
最寄駅 東急東横線 多摩川駅

亀甲山を下りて山沿いを多摩川方面へ歩くと、多摩川浅間神社への上り口があります。写真下左は正面の石段、右は脇の坂道です。





登山道（左）と山頂にある社殿

説明板には「神社の創建は鎌倉時代の文治年間（1185～90）と伝えられ、源頼朝が豊島郡滝野川に出陣した折、夫の身を案じて後を追って来た妻 政子はわらじの傷が痛みだし、ここで逗留の折、亀甲山へ登り、見た富士山にある浅間神社に武運長久を祈り、身に付けていた観音像をこの丘に建てたのが、「多摩川浅間神社」の起こり」と記載されていた。



写真上左は山頂展望台からの眺望で丸子橋から武蔵小杉方面、写真上右の右手奥の森が亀甲山で、下を走る電車は東横線です。
寅さん歩 その9 東京の富士塚めぐり-5 を参照ください。

37. 三菱山

田園調布本町 39、40 最寄駅 東急東横線 多摩川駅

港区に「三井山」がありましたが、大田区には「三菱山」があります。浅間山下の東急多摩川線の踏切を渡り、右折し、上ると中原街道に出ます。

丸子橋手前の右側一帯が「三菱山」とのこと。現在は三菱系企業の社宅、寮が建っています。写真下左は多摩川方面から見た全体の姿、写真右は中原街道を上った所（山頂）です。



38. 木原山

山王4丁目 巖島神社周辺

最寄駅 京浜東北線 大森駅/都営浅草線 馬込駅

地図を頼りに「巖島神社」を探しました。山王公園で子供たちの下校誘導をしていた方に教わりました。環七通りのすぐ近くです。写真下左は「巖島神社」、奥の公園（写真下右）に山の面影が残ります。山王口の八景坂下に「木原氏」の陣屋と屋敷があったことから後ろの山を「木原山」と言ったそうで、今の山王3、4丁目にかけてのかなり広い高台です。

木原氏とは家康の江戸入府の時に随行したお抱え大工の棟梁の木原吉次で駿河城築城や江戸城修復で功績があり、新井宿（今の太田）に知行地を与えられた人とのこと。



39. 大倉山

南馬込 3 丁目 24 大倉山公園

最寄駅 都営浅草線 馬込駅/京浜東北線 大森駅

巖島時神社から環七通りに出て、左折し、南馬込 3 丁目のバス停の右側に「大倉山公園」があります。「大倉山」の名の由来は実業家 大倉喜八郎(大成建設創業者、東京経済大学の前身の大倉商業学校創設者)の別邸跡、初代村長の住居跡などの諸説があり、「外人山」の別称もあるとのこと。

写真下左は上り口、写真下右が山頂の広場です。



40. 等閑山

中央 6 丁目 太田神社一帯

最寄駅 都営浅草線 西馬込駅

「太田神社」は高台の住宅街の中にあり、苦労して見つけました。都内唯一の「那須与一」ゆかりの神社とのこと。「一願必中」の幟がありました。ご神体は那須与一の守り本尊と言われ、この地は小田原北条の頃、「太田新六郎」の領地で、太田氏の名が神社名となったとのこと。



写真上左の坂の先から神社拝殿の脇に出ました。別に下の道から神社に上る階段(写真右)がありました。
下の道の隣の住所は池上1丁目で「池上本門寺」の近くまで来ていました。



41. 佐伯山

中央5丁目30 佐伯山緑地一帯
最寄駅 都営浅草線 西馬込駅

住所の思い違いで見つからず帰り、2回目に訪れた場所です。
西馬込駅から「桜並木通り」を端まで行くと、右手に坂があり、左手に「佐伯山緑地」(写真下左)がありました。
写真下右は白壁の蔵が残る山頂です。



佐伯 矩博士の胸像(写真上左)があり、『栄養学の創業者・父であり、世界で初めての栄養学校(現在の佐伯栄養専門

学校）を創設した方で医学から栄養学を独立させ、栄養研究所、栄養士制度を発展させました。

「佐伯緑地」は通称「佐伯山」と呼ばれ、所有者の佐伯氏により、貴重な緑の森が守られてきました。

平成 12 年（2000 年）大田区は西側の約 3 千㎡の土地を佐伯氏より公園用地として寄付を受けました』と記載の説明板がありました。

平成 20 年（2008 年）には山の一部の土地が佐伯栄養専門学校から売りに出て、民間開発事業者が購入、マンション建設となり、地域住民の反対運動が起きました。マンション建設が計画された土地は山が切り崩され樹木が切り落とされましたが、建築確認が取り消され、その後、大田区が購入という騒動があったとのこと。写真上右は下の道からの上り口です。

42. 羽田富士

本羽田 2 丁目 9 羽田神社内

最寄駅 京浜急行 羽田線 大鳥居駅

駅西口から産業道路を大師橋方面に行くと、大師橋の手前右側にあります。「羽田の氏神様」で近くに羽田空港があるためか、ご利益には「航空安全」もありました。

社殿の左脇に「羽田富士」（写真下左）があります。「崩落につき登山禁止」の表示がありました。



寅さん歩 その9 東京の富士塚めぐり-5 を参照ください。

【こぼれ話】多摩川台古墳群

全体が多摩川台公園になっています。案内図左手に東横線が走り、少し右の濃い緑が「亀甲山古墳」、上は多摩川、地図の右端奥の薄黄緑が「宝来山古墳」、その間に1号古墳～8号古墳があります。



説明板に「多摩川台古墳群は8基からなる古墳時代後期の古墳群で、古墳群の南側には国指定史跡亀甲山古墳、北側には東京都指定史跡宝来山古墳の2基の大型前方後円墳が古墳時代前期に(4世紀)に築造されている。

古墳群は6～7世紀に築造されている。古墳群はここから世田谷区野毛付近まで点在しているが、ここは往年の姿を残している貴重な古墳群である」と記載。写真下左は1号古墳、写真下右は宝来山古墳上り口です。



次回は江戸・東京（23区）の百名山-8です。

平野 寅次郎 拝